

20020608

平成14年度
厚生労働科学研究費補助金
(政策科学推進研究事業)
による研究報告書

病院の機能に応じた経営指標に関する 実証的研究

報告書

平成15年3月

主任研究者
財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会
医療経済研究機構
宮澤 健一

はじめに

良質な医療を安定的に供給する体制を整えるためには、その中核にある病院の経営が継続的に行われることが欠かせない。また国民医療費の50%以上は病院に係るものであり、医療費適正化の観点からも、病院経営の分析は肝要である。

しかしながら、従来、医療行政で使われる指標—例えば診療報酬点数における一般病棟入院基本料急性期特定病院加算、紹介外来加算の条件などは、病院の実証データに基づくものとは言い難く、医療経済実態調査なども、客体が変わるため、病院経営の動向が掴みにくいという問題があった。

本研究では、民間病院（公立病院を除く公的病院を含む）を対象としてアンケート調査を実施し、①医療施設データ、②医療データ、③財務データに関し、それらの実態を把握・分析する。更に、中央社会医療保険協議会が実施している医療経営実態調査を始めとした、従来の経営に関する統計調査では、毎年客体が変わるため、経年動向の把握が困難な状況にある。本調査では、本年度より経年で調査を実施することで、平成13年度と平成14年度のデータ比較を可能にし、平成14年度における診療報酬改定が経営に及ぼす影響を病院の機能別に分析することにつなげる。

本年度は2年調査の1年目であり、まずは上記データ項目に関する実態の傾向把握を行った。今後、これらデータ及び2年目のアンケート調査結果を通じ、病院の機能に応じた実態把握から、病院経営の参考となる指標を開発していく計画であり、本研究が今後の医療行政の一助となれば幸いである。

主任研究者

医療経済研究機構 所長 宮澤 健一

目 次

1. 研究目的.....	1
2. 研究体制.....	2
3. 研究方法.....	2
4. 結果.....	3
(1) 回収率.....	3
(2) 回答病院の属性.....	3
(3) 結果と考察.....	6
【単純集計】.....	10
【開設者別クロス表】.....	20
【平均値、標準偏差値、中央値、最大値、最小値】.....	32
資料 1. 厚生労働省資料と本アンケート調査結果の比較表.....	37
資料 2. アンケート調査表.....	40

病院の機能に応じた経営指標に関する研究

1. 研究目的

良質の医療を安定的に供給する体制を確保するためには、その中核を担う病院の経営が継続的に行われることが重要である。また国民医療費の50%以上は病院に係るものであり、医療費適正化の観点からも、病院経営の分析は重要である。

しかしながら、病院の経営実態調査が多数行われているものの、客体が毎年変わり、かつ病院を病床規模別に分類する程度で、病院の機能に応じた経年的な経営実態把握は行われていない。そのため、病院に関する医療政策の指標が、実証に基づいて設定された数値とは言い難い状況にあると言える。

本研究では、民間病院（公的病院含む）を対象に、以下3種類のデータについてアンケート調査を実施した。

- ① 医療施設データ（病床数、医師数・看護婦数・OT/PT数など）
- ② 医療データ（平均在院日数、術式別件数、紹介率、外来／入院比など）
- ③ 財務データ（損益計算書、貸借対照表）

これらデータから帰納的に病院の機能を分類し、次にそれら機能別にそれぞれの傾向を把握する。このような病院の機能に応じた実態把握から、病院経営の参考、及び医療政策議論の一助となる指標を開発することが、本研究の目的である。

2. 研究体制

本研究の実施にあたり、以下の医療経済・病院経営分野に見識の深い研究者・実務化からなる委員会を設置し、機能に応じた経営評価指標に関して広く議論し、研究を推進した。

主任研究者

- ・宮澤 健一（医療経済研究機構 所長）

分担研究者

- ・鵜田 忠彦（一橋大学教授）
- ・井原 辰夫（医療経済研究機構 研究主幹）
- ・堀田 慎一（医療経済研究機構 主任研究員）
- ・松原 由美（医療経済研究機構 主任研究員）
- ・山崎 学（医療経済研究機構 主任研究員）

協力研究者（五十音順）

- ・泉田 信行（国立社会保障・人口問題研究所研究員）
- ・尾形 裕也（九州大学大学院教授）
- ・金山 正明（平塚共済病院院長）
- ・河口 洋行（国際医療福祉大学助教授）
- ・滝口 進（MHI 代表取締役）
- ・西澤 寛俊（全日本病院協会副会長）
- ・西田 在賢（川崎医療福祉大学大学院教授/岡山大学大学院教授）
- ・松岡 博（国共済連合会 旧令共済病院部管理課長）

3. 研究方法

病院経営などに関する文献調査をした他、下記の要領で郵送によるアンケート調査を実施した。

- ・ 調査実施時期 2002年10月18日～2003年3月31日
- ・ 調査対象 全国の民間病院 7,763施設

4. 結果

(1) 回収率

回収率 16.5% (1,277 件)

(2) 回答病院の属性

回答病院に代表性があるかを見るために、病床規模や地域など、各項目別にアンケート配布先（全国の民間病院）と回答病院とのデータを以下に比較する。

表 1 は病床規模別にみたアンケート回収結果であり、50 床未満の病院は全国にある民間病院の 16.4%を占めるのに対し、回答病院の中では 12.1%と、若干少なめであるが、50 床以上 100 床未満病院は全国で 27.9%なのに対し回答病院の中では 25.2%など、概ね病床規模で大きな差はなかった。

表 1 病床規模別回収結果

	全国(%)	全国件数	有効回答(%)	有効回答件数
50床未満	16.4	1274	12.1	155
50～99床	27.9	2164	25.2	322
100～199床	29.6	2298	33.4	427
200～299床	13.0	1007	13.9	177
300床以上	13.1	1020	15.3	196
合計	100.0	7763	100.0	1277

表 2 は許可病床タイプ別に見たアンケート回収結果である。全国の民間病院ではその他病床が全病床中 73.5%を、精神病床は 26%を、結核病床は 0.5%を占める。アンケート配布先について、その他病床の詳細は不明であるが、回答病院では所謂一般病床 57.1%、医療保険型療養病床 11.7%、介護保険型療養病床 7.4%、特例許可老人病床 1.5%であり、これらを合計すると 77.7%と、病床規模別にアンケート配布先と回答病院に問題となるような偏りは見られなかった。

表 2 許可病床タイプ別回収結果

	その他病床		医療保険型療養病床		介護保険型病床		特例許可老人病床		精神病床		感染症病床		結核病床		総数	
	73.5%	916,198	-	-	-	-	-	-	26.0%	323,994	0.0%	531	0.5%	6,118	100.0%	1,246,862
回答病院	57.1%	129,509	11.7%	26,583	7.4%	16,765	1.5%	3,496	21.6%	49,070	0.1%	226	0.6%	1,265	100.0%	226,731

表 3 は地域別に見たアンケートの回収結果である。北海道に所在する病院は全国では 6.5%なのに対し、回答病院では 8.7%、東北地域は 6%に 8.7%、関東地域は 27%に対して 22.7%、東海地域は 13%に対して 12.5%、近畿地域は 14.8%に対して 13.5%、中国地域は 13.8%に対して 15.6%、九州地域は 19%に対して 18.4%と、地域別に回収結果に大きな偏りはなかったと言える。

表 3 地域別回収結果

	全国(%)	全国件数	有効回答(%)	有効回答件数
北海道	6.5	501	8.7	111
東北	6.0	468	8.7	111
関東	27.0	2096	22.7	290
東海	13.0	1009	12.5	159
近畿	14.8	1146	13.5	172
中国	13.8	1070	15.6	199
九州	19.0	1473	18.4	235
合計	100.0	7763	100.0	1277

表 4 は地域特性別に見たアンケート回収結果である。地域の区分方法は多様であるが、ここでは都市と地方の 2 種類に分類した。ここでいう都市では便宜的に東京 23 区、政令指定都市、中核都市を指す。配布先病院が都市に所在するケースが 36.1%なのに対し、回答病院は 35.1%、配布先病院が地方に所在するケースは 63.9%なのに対し、回答病院では 64.9%と、地域別にみたアンケート配布先と回答病院に大きな偏りはなかった。

表 4 地域特性別回収結果

	全国(%)	全国件数	有効回答(%)	有効回答件数
都市	36.1	2806	35.1	448
地方	63.9	4957	64.9	829
合計	100.0	7763	100.0	1277

*都市：東京 23 区、政令指定都市、中核都市

以上をまとめると、50 床未満の病院からの回答が若干少ないものの、概ね病床規

模、病床タイプ、地域などに偏りなくアンケートが回収されたと考えられる。

以上で、アンケート回答病院に病床規模、病床タイプ、地域別などで、概ね偏りが無い点を見てきた。以下では、病院の財務状態に偏りが無いか、例えば黒字の病院ばかり、または赤字の病院ばかりが偏って回答していないかをチェックする。

表5は、厚生労働省医政局による平成12年度の病院経営指標と、本アンケート調査結果との比較表である。厚生労働省のデータは、全医療法人5,387病院（平成12月10月1日現在）を対象としており、法人設立後1年以上経過し、かつ、原則として、会計年度が4月1日から3月31日までと定められているもので、財務諸表の記載に不備がないもの1,529病院となっている。

これを見ると、厚生労働省のデータでは黒字病院が82.1%、本調査では全体の80.9%、医療法人のみで見ると83.0%が黒字であり、両者に大きな差はない。つまり、本アンケート回収病院に、財務状況においても偏りはないと言える。

表5 財務状況の比較 (％)

	厚生労働省医政局 病院経営指標	厚生労働科学研究費補助金事業 病院アンケート調査H13	
		医療法人のみ	全体
黒字	82.1	83.0	80.9
赤字	17.9	17.0	19.1
合計	100.0	100.0	100.0

(3) 結果と考察

回答のあった病院の機能を見ると(表6)、一般病院が69.5%、療養型病院が16.8%、精神病院が13.6%であった(療養型病院は療養型病床群及び特例許可老人病床の割合が全体の80%以上を占める病院、精神病院は精神病床が全体の80%以上を占める病院、一般病院は上記以外の病院)。

この病院タイプにおける赤字の比率を見てみると(表7)、一般病院では22.2%、療養型病院では14%、精神病院では10.4%と、一般病院が最も赤字比率が高かった。

表6 病院タイプ別

	件数	パーセント
一般病院	888	69.5
療養型病院	215	16.8
精神病院	174	13.6
合計	1,277	100.0

表7 病院タイプと黒字・赤字

	黒字	赤字	合計
一般病院	541 77.8%	154 22.2%	695 100.0%
療養型病院	148 86.0%	24 14.0%	172 100.0%
精神病院	129 89.6%	15 10.4%	144 100.0%
合計	818 80.9%	193 19.1%	1,011 100.0%

一般病床については、その機能が曖昧との指摘があり、急性期を指す、亜急性期を含むなどの議論がされている。そこで以下では、診療報酬上で急性期の指標とされている平均在院日数、紹介率、外来入院比率の一般病床における分布を見てみる。

まず表8は平成13年度7月1日時点の一般病床における平均在院日数である。これによると、17日以下は22.2%、17.1~20日以内は17.5%、20.1~28.9日以内は32.8%、29日以上は27.5%である。

これを平成14年度の一般病床の平均在院日数と比べてみると、17日以下は22.2%から30.0%へと増加し、29日以上は27.5%から23.7%へ減少しており、全体的に一般病床の平均在位日数の短縮化が進んでいる様子が窺える。

表 8 平成 13 年度平均在院日数（一般病床）

	件数	有効パーセント	累積パーセント
17日以下	195	22.2	22.2
17日超～20日以下	154	17.5	39.7
20日超～29日未満	289	32.8	72.5
29日以上	242	27.5	100.0
合計	880	100.0	

表 9 平成 14 年度平均在院日数（一般病床）

	件数	有効パーセント	累積パーセント
17日以下	265	30.0	30.0
17日超～20日以下	155	17.6	47.6
20日超～29日未満	253	28.7	76.3
29日以上	209	23.7	100.0
合計	882	100.0	

表 10 は、平成 13 年度の一般病床の平均在院日数と経常収支差である。これを見ると、平均在院日数 17 日以下の層で赤字が 26.8%と最も多く、29 日以上では 16.9%と最も少ないというように、平均在院日数が長い方が、より黒字比率が良い結果となっている。

表 10 H13 年平均在院日数（一般病床）と 経常収支差

	黒字	赤字	合計
17日以下	112	41	153
	73.2%	26.8%	100.0%
17日超～20日以下	99	31	130
	76.2%	23.8%	100.0%
21日超～29日未満	179	50	229
	78.2%	21.8%	100.0%
29日以上	152	31	183
	83.1%	16.9%	100.0%
合計	542	153	695
	78.0%	22.0%	100.0%

ちなみに表 11 は平成 13 年度における一般病床の平均在院日数と病床利用率である。これを見ると、回答を寄せた病院のうち、平均在院日数が短い程、病床利用率が低い傾向にあることが判る。

表 11 H13 年平均在院日数と病床利用率（一般病床）

	60%未満	60～69%	70～79%	80～89%	90%以上	合計
17日以下	36 18.6%	14 7.2%	33 17.0%	54 27.8%	57 29.4%	194 100.0%
17日超～20日以下	11 7.2%	9 5.9%	31 20.4%	44 28.9%	57 37.5%	152 100.0%
21日超～29日未満	6 2.1%	17 6.0%	58 20.4%	98 34.4%	106 37.2%	285 100.0%
29日以上	13 5.4%	18 7.5%	31 13.0%	63 26.4%	114 47.7%	239 100.0%
合計	66 7.6%	58 6.7%	153 17.6%	259 29.8%	334 38.4%	870 100.0%

一方、紹介率のほうを見てみると（表 12）、急性期特定加算の条件である 30%を超える病院が 18.2%と 2 割弱存在する。

表 12 平成 13 年度の紹介率（一般病床を有する病院）

	件数	パーセント
30%以上	117	18.2
20～30%未満	103	16.0
10～20%未満	161	25.1
5～10%未満	108	16.8
～5%未満	153	23.8
合計	642	100.0

表 13 は一般病床を有する病院の平成 13 年度における紹介率と経常収支差である。どの層でも赤字は 20%程度であり、紹介率では平均在院日数ほどの経営内容の差は見られない。

表 13 H13 年紹介率と 経常収支差（一般病床を有する病院）

	黒字	赤字	合計
30%以上	92 78.6%	25 21.4%	117 100.0%
20～30%未満	79 76.7%	24 23.3%	103 100.0%
10～20%未満	130 80.7%	31 19.3%	161 100.0%
5～10%未満	83 76.9%	25 23.1%	108 100.0%
～5%未満	120 78.4%	33 21.6%	153 100.0%
合計	504 78.5%	138 21.5%	642 100.0%

外来入院比率については(表 14)、急性期加算の条件である 1.5 以下の病院が 27.9% 存在する。

表 14 平成 13 年度の外来入院比率 (一般病床を有する病院)

	件数	パーセント
1.5以下	191	27.9
～2未満	79	11.5
～3未満	202	29.5
3以上	213	31.1
合計	685	100.0

表 17 は外来入院比率と黒字赤字で、これを見ると外来入院比率が 1.5 以下では赤字が 17.3%と最も低く、1.5～2 未満でやや赤字が多いものの、外来入院比率が低い方が黒字の比率が多い傾向が窺える。

表 17 H13 年外来入院比率と経常収支差 (一般病床を有する病院)

	黒字	赤字	合計
1.5以下	158 82.7%	33 17.3%	191 100.0%
～2未満	60 75.9%	19 24.1%	79 100.0%
～3未満	160 79.2%	42 20.8%	202 100.0%
3以上	156 73.2%	57 26.8%	213 100.0%
合計	534 78.0%	151 22.0%	685 100.0%

本年度は、2 年事業の 1 年目として、病院経営の実態を①医療施設データ、②医療データ、③財務データから把握した。

1 年目は、アンケートの調査設計およびアンケート回収率向上のため、回収期間を延期する、不整備なアンケート調査票を電話などで質問することから、予想以上の時間がかかり、これらデータから帰納的に病院機能を検討するまでには至らなかった。

しかし、これらの豊富なデータは他にないものであり、今年は主に単純集計でそれぞれの調査項目における分布の傾向把握に努めた。

次年度では経年調査が可能であり、病院の平均在院日数や紹介率、財務内容など、病院経営の動向の変化も含め、機能に応じた経営指標開発を行う予定である。

集計結果

【単純集計】

①医療施設データ

標ぼう診療科名	件数	%
内科	1,102	86.3
呼吸器科	374	29.3
消化器科(胃腸科)	636	49.8
循環器科	556	43.5
小児科	426	33.4
精神科	311	24.4
神経科	209	16.4
神経内科	249	19.5
診療内科	86	6.7
アレルギー科	48	3.8
リウマチ科	157	12.3
外科	712	55.8
整形外科	733	57.4
形成外科	141	11.0
美容外科	13	1.0
脳神経外科	342	26.8
心臓血管外科	100	7.8
小児外科	50	3.9
産婦人科	192	15.0
産科	24	1.9
婦人科	86	6.7
眼科	309	24.2
耳鼻いんこう科	249	19.5
気管食道科	23	1.8
皮膚科	378	29.6
泌尿器科	368	28.8
性病科	12	0.9
こう門科	210	16.4
リハビリテーション科	717	56.1
放射線科	489	38.3
麻酔科	357	28.0
その他	190	14.9
合計	1,277	100.0

病床	件数	%
50床未満	155	12.1
50～99	322	25.2
100～199	427	33.4
200～299	177	13.9
300床以上	196	15.3
合計	1,277	100.0

経営体	件数	%
医療	939	73.5
個	121	9.5
公的社会	99	7.8
その他	118	9.2
合計	1277	100.0

1床当りの延床面積

	件数	%
20㎡未満	217	18.4
21～40㎡	642	54.3
41～60㎡	229	19.4
61～80㎡	50	4.2
81～100㎡	6	0.5
101㎡以上	38	3.2
合計	1,182	100.0

主な病棟の増改築年

	件数	%
1960年代	12	1.4
1970年代	63	7.1
1980年代	167	18.9
1990年以降	641	72.6
合計	883	100.0

主な病棟の建築年

	件数	%
1960年以前	65	5.2
1960年代	212	17.0
1970年代	320	25.6
1980年代	387	31.0
1990年以降	264	21.2
合計	1,248	100.0

入退院調整担当者有無

	件数	%
入退院調整担当者がある	754	60.6
入退院調整担当がない	490	39.4
合計	1,244	100.0

一般病棟看護配置H13

	件数	%
～2:1未満	3	0.3
2:1～2.5:1未満	214	24.5
2.5～3:1未満	262	30.0
3:1～以上	394	45.1
合計	873	100.0

一般病棟看護配置H14

	件数	%
～2:1未満	4	0.5
2:1～2.5:1未満	236	27.2
2.5～3:1未満	271	31.3
3:1以上	356	41.1
合計	867	100.0

一般病棟看護補助配置H13

	件数	%
～3:1未満	12	1.8
3:1～6:1未満	41	6.2
6:1～10:1未満	218	33.0
10:1以上	390	59.0
合計	661	100.0

一般病棟看護補助配置H14

	件数	%
～3:1未満	12	1.9
3:1～6:1未満	36	5.6
6:1～10:1未満	201	31.4
10:1以上	391	61.1
合計	640	100.0

療養病棟看護配置H13

	件数	%
2:1～2.5:1未満	5	0.8
2.5～3:1未満	1	0.2
3:1以上	640	99.1
合計	646	100.0

療養病棟看護配置H14

	件数	%
2:1～2.5:1未満	4	0.6
2.5～3:1未満	3	0.5
3:1以上	659	98.9
合計	666	100.0

療養病棟看護補助配置H13

	件数	%
～3:1未満	2	0.3
3:1～6:1未満	462	73.0
6:1～10:1未満	76	12.0
10:1以上	93	14.7
合計	633	100.0

療養病棟看護補助配置H14

	件数	%
～3:1未満	1	0.2
3:1～6:1未満	484	74.3
6:1～10:1未満	70	10.8
10:1以上	96	14.7
合計	651	100.0

医師非常勤

	件数	%
～1人未満	145	12.6
1～2人未満	281	24.3
2～3人未満	253	21.9
3～4人未満	147	12.7
4～5人未満	105	9.1
5人以上	224	19.4
合計	1,155	100.0

医師常勤

	件数	%
～3人未満	131	10.3
3～6人未満	433	34.1
6～9人未満	244	19.2
9～12人未満	109	8.6
12～20人未満	130	10.3
20～30人未満	65	5.1
30人以上	156	12.3
合計	1,268	100.0

保健師

	件数	%
配置なし	357	70.8
0.1～2人未満	62	12.3
2人以上	85	16.9
合計	504	100.0

助産師

	件数	%
配置なし	326	61.7
0.1～2人未満	17	3.2
2～5人未満	39	7.4
5人以上	146	27.7
合計	528	100.0

看護師

	件数	%
～5人未満	62	4.9
5～10人未満	151	12.0
10～20人未満	262	20.8
20～30人未満	195	15.5
30～50人未満	220	17.4
50～80人未満	125	9.9
80人以上	246	19.5
合計	1,261	100.0

看護業務補助者

	件数	%
～10人未満	275	22.0
10～20人未満	344	27.5
20～30人未満	223	17.9
30～40人未満	168	13.5
40人以上	239	19.1
合計	1,249	100.0

准看護師

	件数	%
～10人未満	194	15.4
10～15人未満	223	17.8
15～20人未満	205	16.3
20～30人未満	266	21.2
30人以上	368	29.3
合計	1,256	100.0

理学療法士(PT)

	件数	%
配置なし	132	14.1
0.1～1人未満	30	3.2
1～3人未満	272	29.0
3～6人未満	265	28.3
6人以上	239	25.5
合計	938	100.0

作業療法士(OT)

	件数	%
配置なし	253	33.2
0.1～2人未満	114	15.0
2～4人未満	175	23.0
4～8人未満	152	20.0
8人以上	67	8.8
合計	761	100.0

薬剤師

	件数	%
～1人未満	11	0.9
1～2人未満	255	20.2
2～3人未満	319	25.3
3～5人未満	343	27.2
5～10人未満	198	15.7
10人以上	136	10.8
合計	1,262	100.0

医療社会事業従事者

	件数	%
配置なし	152	16.5
0.1～1人未満	2	0.2
1～3人未満	517	56.0
3人以上	252	27.3
合計	923	100.0

その他臨床従事者

	件数	%
～5人未満	315	28.8
5～10人未満	209	19.1
10～20人未満	261	23.9
20人以上	308	28.2
合計	1,093	100.0

事務職員

	件数	%
～5人未満	116	9.3
5～10人未満	378	30.1
10～15人未満	232	18.5
15～25人未満	228	18.2
25人以上	300	23.9
合計	1,254	100.0

②医療データ

H13紹介率

	件数	%
～5%未満	223	27.9
5～10%未満	127	15.9
10～20%未満	194	24.3
20～30%未満	116	14.5
30%以上	139	17.4
合計	799	100.0

H14紹介率

	件数	%
～5%未満	220	27.0
5～10%未満	118	14.5
10～20%未満	170	20.9
20～30%未満	128	15.7
30%以上	179	22.0
合計	815	100.0

H13一日平均外来患者数

	件数	%
51人未満	54	6.1
51～100人	124	14.1
101～150人	149	16.9
151～200人	131	14.9
201～300人	129	14.6
301～400人	72	8.2
401～500人	51	5.8
501人以上	172	19.5
合計	882	100.0

H14一日平均外来患者数

	件数	%
51人未満	55	6.2
51～100人	139	15.7
101～150人	147	16.6
151～200人	129	14.6
201～300人	130	14.7
301～400人	75	8.5
401～500人	47	5.3
501人以上	163	18.4
合計	885	100.0

H13外来入院比率

	件数	%
15%未満	225	26.1
15～30%未満	366	42.4
30%以上	272	31.5
合計	863	100.0

H14外来入院比率

	件数	%
15%未満	250	29.0
15～30%未満	350	40.6
30%以上	263	30.5
合計	863	100.0

一般病棟平均在院日数H13

	件数	%
17日未満	174	19.8
17～22日	308	35.0
23～30日	198	22.5
31～59日	160	18.2
60日以上	40	4.5
合計	880	100.0

一般病棟平均在院日数H14

	件数	%
17日未満	247	28.0
17～22日	279	31.6
23～30日	164	18.6
31～59日	152	17.2
60日以上	40	4.5
合計	882	100.0

療養病棟平均在院日数H13

	件数	%
30日以下	22	4.6
31～60日	50	10.4
61～90日	56	11.6
91～180日	149	30.9
181日以上	205	42.5
合計	482	100.0

療養病棟平均在院日数H14

	件数	%
30日以下	18	3.6
31～60日	58	11.5
61～90日	66	13.0
91～180日	137	27.1
181日以上	227	44.9
合計	506	100.0

精神病棟平均在院日数H13

	件数	%
30日以下	4	2.1
31～60日	9	4.7
61～90日	6	3.2
91～180日	19	10.0
181日以上	152	80.0
合計	190	100.0